

# 「第2自民党宣言」

## ネット番組で馬場代表



馬場伸幸代表

維新の馬場伸幸代表は23日、このネット番組で、自民と維新の関係について「第1自民党と第2自民党でいい」と発言しました。馬場氏は「われわれが目指すのはアメリカのような二大政党制だ」と述べ、「第1自民党と第2自民党が改革合戦をどんどんやる」と表明しました。この発言について共産党の志位和夫委員長は25日、「これまで『第2自民党』と評価するのがふさわしい政党はいくつもあったが、自らを『第2自民党』と言ったのは初めてではないか」と述べ、「仮に維新が伸びても政治は何も変わらないということだ。『野党第1党』ではなく、『与党第2党』になるだけだ」と指摘しました。

## 改憲突撃隊、核使用「メリット」

維新は自民党政治を右からけしかける役割を果たしています。憲法について馬場代表は「維新が突撃隊となって改憲論議を引っ張っていく覚悟」（昨年10月、衆院憲法審）と表明。核は「最終最後の手段として使うことになる。核を使うことにメリットもある」（1月5日、BS番組）と述べました。

# 民主主義否定の暴論 撤回を

共産党はなくなったらいい

## 維新抗議に反論できず

維新の馬場伸幸代表はインターネット番組（23日）で「共産党は日本からなくなったらいい政党」などと暴言。共産党の小池晃書記局長は記者会見で「民主主義を根本から否定する暴論だ」と厳しく抗議し、撤回を求めました（24日）。



記者会見する小池書記局長

## 小池書記局長が会見

小池氏は、他党の政策について批判や論争をする権利はどの党にもあるが、「なくなったらいい」と存在そのものを否定することは民主主義の否定だと批判しました。その上で、「私はあなたの意見には反対だ。だがあなたが主張する権利は命をかけて守る」（フランスの哲学者・ヴォルテール）が「民主主義の原則だ」と強調しました。小池氏が26日、抗議文を維新に渡したのに対し、藤田文武幹事長は共産党の維新批判を理由に「撤回する必要は全くない」と表明。しかし「民主主義否定」という肝心な点について全く反論できませんでした。

## 日本共産党

### メディア・政界から批判

「朝日」25日付は、法政大大学院の白鳥浩教授の「考えの違う他党の意見も尊重するのが民主主義のあるべき姿で、馬場氏の発言は他党、ひいてはそれを支持する有権者をも否

定するものだ」とのコメントを掲載。公明党の北側一雄中央幹事会長は「（共産党と）政策や考えは全然違うが、なくなるとは思っていない」「多様な意見があるのが政治の世界」（27日の記者会見）。

### 総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

### 日本共産党



元参議院議員・新46 たつみゆき



党京都府常任委員・新36 堀川あきこ



衆議院議員2期・前55 清水ただし



党兵庫県常任委員・新47 こむら 潤

制度解説

衆院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

## 近畿民報

2023年7月No.5 (第561号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。